



受付時間 (初診予約制)
午前 9:00 ~ 12:00
初診受付 11:30 まで / 日曜のみ 11:00 まで
午後 2:30 ~ 6:30
※日曜のみ 3:00 ~ 6:30
初診受付 6:00 まで / 日曜のみ 5:00 まで

日	月	火	水	木	金	土
+	+	+	/	+	+	/
+	+	+	/	+	+	/

3月 2018年

日	月	火	水	木	金	土
				1 全日	2 全日	3 休診
4 全日	5 全日	6 全日	7 休診	8 全日	9 全日	10 休診
11 全日	12 全日	13 全日	14 休診	15 全日	16 全日	17 休診
18 全日	19 全日	20 全日	21 休診	22 休診	23 休診	24 休診
25 全日	26 全日	27 全日	28 休診	29 全日	30 全日	31 休診

21日(水)~24日(土)は4連休になりますので、お薬等の不足やお間違いにご注意ください。

4月 2018年

日	月	火	水	木	金	土
1 全日	2 全日	3 全日	4 休診	5 全日	6 全日	7 休診
8 全日	9 全日	10 全日	11 休診	12 全日	13 全日	14 休診
15 全日	16 休診	17 休診	18 休診	19 全日	20 全日	21 休診
22 全日	23 全日	24 全日	25 休診	26 全日	27 全日	28 休診
29 全日	30 休診					

16日(月)~18日(水)は3連休、30日(月)~5月5日(土)は6連休になりますので、お薬等の不足やお間違いにご注意ください。

加湿器病にご用心!

院長おススメ加湿器は、これだっ!

加湿器病とは?

加湿器は、特に乾燥しやすい冬に活躍する家電製品です。湿度を上げると肌荒れや風邪の予防になることは、既に皆ご存知のはずです。しかし、加湿器は使い方が良くないと、逆に病気を招いてしまいます。それが加湿器病です。

加湿器は本質的に内部にカビ・雑菌が繁殖しやすく、これら病原体が加湿器から放出される水の粒子とともに部屋の空気中にばら撒かれ、それを人間が吸い込む事で加湿器病を発症するリスクが高まります。



加湿器病の症状は、最初は風邪と似ていますが、風邪と違うのは汚染された加湿器を使っている部屋にいる限り治らず、咳・痰・熱などが続いてしまうことです。加湿器汚染の認識がなく、そのまま使い続けているとヒドイ肺炎や肺真菌症に至る危険もあります。特に乳幼児や高齢者等、体の抵抗力が弱い方が加湿器病にかかり易いので注意が必要です。

加湿器病は、その構造と加湿方式によって危険性に差がありますから、加湿器を選ぶ時は十分な知識が必要です。それぞれの仕組みを比べてみましょう。

◆ スチーム式



スチーム式は最も加湿器病が発生しにくいタイプです。スチーム式は水を加熱しますので、熱による殺菌効果でカビや雑菌は、ほぼ死滅します。清潔ではありますが、猛烈に電気を消費します。スチーム式加湿器を使う場合、電気代は安全を得るための代償として覚悟して下さい。

◆ ヒーターレス気化式



ヒーターレス気化式は、加湿器病が発生しやすい方式です。加湿器病はファンによる風の力で水を蒸発させますので、熱による除菌効果がありません。そのため水が汚れたまま使用すると、カビや雑菌が繁殖し、蒸発した水粒子に乗ってバラ撒かれます。清潔に使うには、ほぼ毎日のように内部タンクとフィルターを洗浄し一旦乾燥させるべきです。特にフィルターは週1回は次亜塩素酸などに漬けてカビを殺す必要があります。

◆ ハイブリッド式



ハイブリッド式は、加湿器病が比較的発生しにくい方式です。ただし、ハイブリッド式はスチーム式とヒーターレスファン式の両者を組み合わせた仕組みとなっていますが、加湿器によって仕組みが異なりますので、仕組みによっては清潔にしておかないと加湿器病が発生しやすいものがあります。ヒーターを用いて温風を発生させて水を蒸発させるものがありますが、沸騰するほどの高熱ではないので、頻りに洗浄しなければカビや菌が繁殖します。

◆ 超音波式



超音波式は加湿器病発生の可能性が最も高く、非常に危険な加湿方式です。超音波による振動で水を粒子にして空気中に放出させる際、水道水に含まれる塩素が水から発散します。殺菌効果を保つための塩素が抜けるため、カビや菌が繁殖する可能性が高まります。

また、超音波式で発生する水の粒子は大きめとなっており、水にカビや細菌が含まれていると、水の粒子が大きい分、カビや細菌が粒子に乗りやすく、空気中により多くのカビや菌がバラ撒かれやすくなります。最もお勧めできない加湿方式と言えます。

◆ ダイソン式



掃除機で有名なダイソン社が新方式の加湿器を開発しました。ダイソン式は、基本的には超音波加湿方式ですが、水を超音波で蒸発させる直前に強烈な紫外線ライトを水に照射し、水中の細菌・カビ・ウィルスを徹底的に殺菌してしまう方法です。今までの加湿器の中では最も清潔な方式と言えます。

最大の課題は高額であることで(直販で52,704円)、良いと思ってもなかなか決心が付きません。もう一つ、発生蒸気はキレイでも、その後の蒸気が通る上部導管の中にカビは付かないのか? という疑問が多少残ります。



で、結局
どれが良いわけ?

加湿器の方式による特徴を比較した表を以下に示します。

	清潔性	電気代	運転音	価格
スチーム式	◎	×	○	安
ヒーターレス気化式	××	○	△	並
ハイブリッド式(ファン式+スチーム式)	×	△	△	並
超音波式	×××	○	○	安
ダイソン式	○	○	×	高

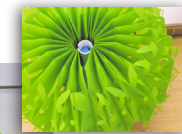
清潔性ならスチーム式かダイソン(但しどちらも費用は覚悟)。次の選択はハイブリッド式、と言ったところでしょうか。

もっと良い加湿器は無いのでしょうか? 実はもう一つ、驚きの加湿方式があるんです。

◆ 自然蒸発方式

自然蒸発方式は 清潔性 ○ 電気代 ◎ゼロ! 運転音 ◎ゼロ! 価格 安

という画期的な方式ですが、原理は部屋の中で洗濯物を干すのと一緒で、最も原始的な加湿法であります。それをスマートな形の加湿器として製品化されたものが、以下にご紹介する『**ミスティツリー**』です。



上部に水タンク部分があり、ここに浸る緑の厚紙フィルターが給水して湿り、どんどん蒸発して部屋を加湿します。電気も使わず、無音、無煙、無臭です。観葉植物のようでキレイで可愛いデザインですが、こう見えてしっかりと加湿してくれます。

院長自宅の寝室では、夜に1.5ℓ補水すると朝にはほとんどタンクがカラになっていますし、湿度は20%近く上昇します。電気コードが要らないので水平面であれば、置き場を選びません。

水タンクは数日に1回程度洗うべきですが、大きく開いて形が単純なので簡単に洗えます。紙部分は外に露出して乾燥していくせいか、1シーズン使っても見た目や臭いでカビは確認できませんでした。3か月に1回交換する方が良いでしょう。

アマゾン価格は**10,171円**(交換用紙フィルター **5,940円**)。機械が無く故障ゼロなのも安心です。

結論

という訳で、分析検討の結果、現時点で最善の加湿器は、自然蒸発式の**ミスティツリー**と結論します。当院待合室にも設置していますので、是非現物を見て気に入ったらアマゾン等から買って下さい。あなたとご家族の健康を守るためには、一番おススメの加湿器です。

